

令和三年度 統一模試 中学二年冬期テスト (実施時間四十五分間)

国語

注意

- 問題用紙は六ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 監督者の指示に従つて解答用紙を取り出し、番号と氏名を解答用紙及び問題用紙の決められた欄に記入しなさい。また、解答用紙の「QRコードシールをはる」と書かれたわくの中に、シールをはみ出さないようにはりなさい。
- 監督者の「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
- 答えは、問題の指示に従つてすべて解答用紙の答えの欄にはみ出さないように記入しなさい。
- 筆記用具は、H.Bかそれよりも濃いものを用い、文字がうすくならないように注意しなさい。
- 監督者の「やめ」の合図ですぐにやめなさい。

氏名

次の文章を読んで、あとの1～6の問い合わせに答えなさい。

〔一〕～〔六〕は段落番号を示す。」

創造性ということが、^(注)最近では特に高く評価されるようである。せつからく、この世に生まれてきたのだから、何か新しいことを創り出したい。大人になるといふことも、何かそのような新しい何ものかを、人間の世界にもたらそうとすることだといえるかも知れない。しかし、創造するといつても発明や発見をしたりとか、偉大な芸術作品を創り出すことのみをいつてているのではない。自分なりの生き方を探ることは、すなわち、創造ではないだろうか。□、われわれの人生そのものが、ひとつの創造過程である、というわけである。 (一)

創造するためにはイマジネーションが必要である。あれこれかとこころに想い描くことによつて、われわれは新しくできあがつてくるものの可能性を探ることができる。しかし、それは単なる願望⁽¹⁾充足の空想であつてはだめである。創造につながるイマジネーションと、すぐ

10

20

の差によつて示される。前者の場合は、相当な心的エネルギーを必要とするのである。もつとも、この両者は判然とは区別しがたく、後者のはかない空想が前者の方へと創造的に高められてゆくときもある。

(二)

イマジネーションは創造の源泉であるが、それは子どもっぽいこととして価値をおかない人もある。しかし、その子どもっぽいことこそが創造の源泉となるのである。子どもの不安定さに対し、大人の安定性をあまりにも強調するとき、その安定は停滞⁽²⁾にもつながるといえよう。つまり、毎日毎日きまりきつたことを繰り返すだけになってしまつて、それを大人と考えるならば、それはまつたくつまらないことになつてしまつ。大人をそのようにとらえる人は、大人にはなりたくないと考えることもあるう。

(三)

しかしながら、創造過程を歩むものとしての大人を考えるときは、事態はそれほど単純ではない。このことは、眞の大人といふものは、その中に子どもっぽさを残している人だ、といふにはいえないだろうか。ここにいう子どもとは、世の中のことをするべきなりきつたことは考えずに、あらゆることに疑問をもち、イマジネーションを働かせる存在だということである。コップを見ても、それはコップだということですませてしまわないで、そのコップはひよつとして話をするのではないかとか、もしもコップが空を飛んだらとか、考えてみることのできる大人こそ、本当の大人ではなかろうか。大人になつても、自分のこころの中に住んでいる子どもを生かしておくのである。このようにいつても、大人のこころの中の子どもの生かし方は、なかなか難しいのではなかろうか。内界の子どもの力が強すぎて、何を見てもイマジネーションばかり働かせていたのでは、大人としての義務を遂行⁽³⁾できないであろう。といって、子どもの力を弱めてしまうと、すべてのことがきまりきつたことになつて、創造性がなくなつてしまう。

(四)

創造的退行という言葉がある。退行というのは、人間のこころの状態が子どもの頃にかえるような状態になり、まつたくの無為になつたり、ばかげた空想をしたりするようなことをいう。ところが、極めて創造的な人々の様子をよく観察すると、創造活動が活発になるときに、逆行現象が生じることがわかってきたのである。もちろん、それまでには意識的な探索活動が大いに行われるのであるが、それに疲れた頃にこのような逆行が生じ、そのときに普通では思いつけなかつたようなあらたな発見⁽⁴⁾の萌芽⁽⁵⁾が生じるのである。それを確実に有用な創造にするためには、再び意識的な活動が必要となつてくるのだが、何しろ、もつとも根本的な着想は逆行時に生じているのだから、そのような現象を称して創造的退行というようになつたのである。

(五)

50

25

45

30

35

40

45

50

創造的退行の現象は、今までのいい方によると、大人が自分の内なる子どもと接触をはかり、子どもとの対話の中にヒントをつかみ、それを再び大人の知恵によって現実化してゆくことといえそうである。

(六)

(河合隼雄「大人になることのむずかしさ」)による。一部省略等がある。

(注) 最近この文章は一九八〇年代の初めに書かれた。

イマジネーション＝想像。 無為＝何もしないこと。
萌芽＝きざし。

1 本文中の□にあてはまる語として最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア しかし イ つまり ウ だから エ または

2 —線部①とあるが、その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア 心的エネルギー量の小さい空想は、創造につながりにくいから。イ 心的エネルギー量の大きい空想は、創造活動の妨げとなるから。

ウ 創造につながる空想は、願望充足の空想に比べてはかないから。エ 空想と創造に発展するイマジネーションは、判別が難しいから。

3 —線部②とはどういうことか。その内容の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア 大人とは、子どもっぽいイマジネーションを捨て去ることで、高い創造性を身につけた存在であると考えること。

イ 大人とは、自分の中に子どもの頃の創造性が残っていても、その価値を認めようとしない存在であると考えること。

ウ 大人とは、創造に必要な安定したイマジネーションをもつ点で、本質的に子どもと異なる存在であると考えること。

エ 大人とは、創造性よりも安定性を重視し、ひたすら型どおりのことを繰り返している存在であると考えること。

4 次の文は、(四)段落で筆者が述べている「眞の大人」についての考え方を説明したものである。□に「疑問」「創造性」の二語を用いた五十字以内の言葉を補い、文を完成させよ。

眞の大人とは、そのこころの中に□人のことである。

5 次の文は、(五)段落の内容を説明したものである。□に最も適当な二字の言葉を(五)段落から抜き出して書き、文を完成させよ。

創造的な人々は、創造活動の過程で、こころが一時的に子どもの頃のような状態となり、そのときに得られるあらたな着想を、有用な創造へと□に高めている。

6 本文の内容について説明したものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア 創造性を發揮して新しい何かを創り出せるかどうかで人は評価される。

イ 創造性が豊かな大人ほど自分に課された義務を果たさない傾向がある。

ウ 創造性の乏しい大人に退行現象が起きるのは探索に疲れたときである。

エ 創造性は自己の内なる子どもとの対話をきっかけとして現れてくる。

次の文章を読んで、あとの1~5の問い合わせに答えなさい。

小学校五年生のカズヤが、転校を間近に控えた親友のトオルと、二人でいっしょに海まで出かけている場面を描いたものである。

「トオル！ どうする！」——怒鳴らないと、雨音に声がかき消されてしまう。

①「突つ走るしかないだろ！」トオルは自転車のスピードを上げた。でも、そんなの無茶だ。雨はどんどん強くなる。大きな雨粒あまづぶは、まるでブドウをぶつけられているみたいだつた。風も強い。

②「ゴロッ、と空が鳴つた。かみなりだ。

「トオル！ 雨宿りしよう！」怖いのか？ オレなんて、ぜーんぜん平気だぞ！

そうじやない。リュックの中に「ハックルベリー・フィンの冒険」^注が入つていてことを思いだしたのだ。雨はリュックの中にも染み込むだろう。本がぬれてしまつて、ボロボロになつたら……そんなの、嫌だ。

「本があるんだよ！」「はあ？」「いいから！」

サドルからおしりを上げて必死に自転車を漕いだ。トオルを追い越して、すぐ先の分かれ道で土手から降りた。土手の下はバスの走る広い道路になつていた。スーパー・マーケットの看板が見えた。よし。トオルもついてきている。僕は振り向いて、「おまえに持つて来てやつた本なんだ！」と怒鳴つた。

すると、トオルはきよとんとした顔になつて、「オレも！」と怒鳴り返した。「オレも、カズヤに渡す本、持つて来てる！」

スーパー・マーケットで、いちばん安いガムを一つずつ買った。レジのおねえさんがシールだけですませようとするのを、すみません、袋に入れてください、とお願いした。本をレジの袋に入れて、それをバスタオルでくるんでリュックの奥のほうにしまつておけば、なんとかなるだろう。

スーパーの自転車置き場には、うまいぐあいに屋根もついていた。

雨宿りをしながら、トオルに背中を向けて本をレジの袋に入っていたら、「オレに持つて来た本つてなんなんだよ。」ときかれた。「もつたいぶるなよ。見せろよ、ほら。」——せつかちな性格なのだ。

「トオルだつて、オレに渡す本つて、なんなんだよ。」「なんだつていだろ。」「よくないよ。なに言つてんだよ。」

しばらく言い合つたすえに、二人同時に渡すことで話がまとまつた。ほんとうは海に着いてから渡したかつたけど、しかたない。トオルのほうも、ここで渡したくはなかつたのか、不機嫌そうなしぐさでリュックを探つていた。だつたら「やっぱり海に着いてからにしようぜ。」

とどつちかが言えбаいいのに、意地を張るとお互いにそれができなくなつてしまふのが、なんというか、つまり、要するに……女子の言う

ように、男子つてバカでガキのかもしれない。

「じゃあ、同時に見せつこしようぜ。」「うん……。」

ガツツポーズと同じように、いつせーのつせつ、というかけ声なし40に、僕たちは手に持つた本を出した。

③「トム・ソーヤーの冒険」と、「ハックルベリー・フィンの冒険」が

向き合つた。

僕たちはあ然として、呆然ぼうぜんとして、しばらくそのまま黙り込んだ。

先に普ふと噴き出したのはトオルで、「なんだよーつ。」と声をあげ45たのは僕だった。

「……もともとカズヤの本なんだから、返してやるだけだよ。」

トオルはムスッとした顔と声で言つた。言いたかつたせりふを先に言われた僕も、「こつちもだよ。」と口元をもぞもぞさせて言つた。「だから、べつに、プレゼントなんかじゃないし……。」

「わかってるよ、そんなの。」「オレだつてわかるよ。」

僕たちはまた黙り込む。今度は、先に「まいっちやつたなあ……。」と苦笑交じりに首をかしげたのは僕で、トオルは「信じられねーよ……。」とため息をついた。

3

次の文章を読んで、あととの1~4の問い合わせに答えなさい。

二月にいたりても野山一面の雪の中に、清水ながれは水気温かななる
(なつても) 清れいるといふは

⁽¹⁾ゆゑ雪の少し消ゆる処もあり、⁽²⁾これ水鳥の下りる処なり。雁これを見

ればまづ一、二羽ここにおりて己まづ求食り、さて糞をのこして喰あ

(そして)
(食べ物)

探して食べ

る處の目とす。⁽³⁾俚言にこれを雁の代見立てといふ。雁のかくするは友

(目印)
(いのまた)

仲間の

鳥を集ひきたりて、かれにも求食らせんとてなり。朋友に信ある事人^(ともだち)
(仲間に對して思いやりの) 5 素晴らしいことである

も恥づべき事なり。

(恥ずかしいと思うほど)

(食べさせよう)

(「北越雪譜」による)

(注) 雁||秋に日本に飛来する渡り鳥。

俚言||ある地域特有のことば。

- 1 線部① 「ゆゑ」を現代仮名遣いに直して書け。
- 2 線部② 「これ」の指す内容を、本文中から八字で抜き出して書け。
- 3 線部③ 「雁の代見立て」とあるが、これは雁がどのような行動をとることか。二十字以内で説明せよ。

4 本文の内容について説明したものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

A 雁はお互いを思いやつて行動しているが、それは人にはなかなかできないことである。

I 雁は仲間と支え合つて生きていこうとしているが、それは人ににおいてもよくある話だ。

ウ 雁は春の到来を告げる水鳥なので、雪深い山里の人々は楽しみにして待ち望んでいる。

エ 雁は自分の信念に基づき自信を持つて行動するが、人はそのような行動を避けたがる。

4 次の一線部のカタカナは漢字に直し、漢字は仮名に直して書きなさい。

- 1 産業のティヘンを支える人たち。
- 2 場所をモウける。
- 3 日本列島をジュウダンする。
- 4 優勝のシユクガ会を開く。
- 5 丹精をこめて作る。
- 6 簡単に償うことのできない過去。
- 7 体全体が鉛のように重い。
- 8 人工海浜エリアとして活用される。

次は、合唱部の部長が、新入生全員に部活動紹介をするために準備した原稿である。山本さんは、合唱部の部長から原稿についての助言を頼まれた。この原稿を読んで、あとの一～四の問い合わせに答えなさい。

こんにちは。合唱部です。合唱できれいなハーモニーが生まれたときの気持ちよさは、音楽の授業などで誰もが一度は経験したことがあるのでないでしょうか。合唱部では、そんな気持ちよさを味わえるだけではありません。^①聴いてくださる人々の前で思い通りに歌えた喜びは、^②格別です。そのために私たち合唱部は、日々の活動に励んでいます。

ふだんの練習では、発声練習や歌唱練習はもちろんですが、
体を使つたさまざまなトレーニングも行います。まずストレッチで体をほぐした後、发声練習を兼ねて、顔の筋肉を大きく動かす運動をします。ときどきランニングも行います。

^a 作詞者や作曲者の思いを理解し、全員で一つの曲を作りあげていくのは簡単なことではありません。しかし、満足のいく合唱ができたときには、^b たこともあります。しかし、満足のいく合唱ができたときには、何物にもかえられない達成感が得られます。

現在の部員は二年生と三年生合わせて十五人で、男子部員五人、女子部員十人です。毎週火曜、木曜、金曜日に音楽室で活動しています。

今度、音楽室で、私たちの歌声を聴いてもらうためのミニコンサートを行います。市の音楽祭で金賞を受賞したときの課題曲のほか、「翼つばさをください」などを歌います。ぜひ聴きに来てください。

1 線部①「人々」を、敬意を表す表現にしたい。意味を変えず、敬意を表す別の表現に直して書け。

2 次の文は、――線部②「格」を行書で書いたものである。使われている筆遣いとして適当でないものを次から選び、記号で答えよ。

格 ウ 点画の省略 イ 筆順の変化

3

山本さんはこの原稿を読んで、ミニコンサートに来てもらうため必要な情報が不足していると気付いた。ミニコンサートに来てもらうために必要な情報とはどのようなものか。五字以内で書け。

4 次の文は、原稿を読んだ山本さんが部長に伝えた助言の内容である。□には原稿中の□の部分の言葉を用いて十字以内の言葉を書き、□には□中から最も適当な十字の言葉を抜き出して書き、文を完成させよ。

この原稿の長さだと割り当てられた時間内では部活動紹介をしきれないでの、^aか^bの段落のどちらかを省けばよいと思います。

^aを残した場合は□が伝わり、^bを残した場合は□が伝わると思います。

あなたのクラスで、「計画性を持つた行動が、将来仕事に就いて社会生活を送つていく中でどのように役立つと思うか」ということについて話し合いをすることになった。あなたの考えを、あとの一～四の条件に従つて書きなさい。

条件

- (1) 二段落で構成し、六行以上八行以下で書くこと。
- (2) 第一段落には、あなたの考えを書くこと。
- (3) 第二段落には、第一段落のように考える理由を、体験や見聞を含めて書くこと。
- (4) 原稿用紙の正しい使い方に従つて、文字、仮名遣いも正確に書くこと。

※統一実施日以前のテスト実施は固くお断りいたします。
※このテストを許可なく複写・転載することを禁じます。